

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	山北高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に corres 応するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。
教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。
- これまで、地域に根ざした教育を展開するとともに生徒の多様な進路希望の実現を目指し、生徒一人ひとりの適性に 応じた授業の実践に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをめざした 不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向け、教育活動の充実に取り組む。
また、これまでスポーツリーダーコースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする改編に取り組む。

2 学校教育目標

- 規範意識を醸成し他者を思いやる心を育て、学力を向上させ、品位と教養を育む。
- スポーツや文化活動に取り組み、その意義と悦び、成果を地域と共有する。
- 自己肯定感を持ち、積極的に課題を解決する力、着実に努力する力を育成し、進路実現を図る。

3 計画策定時点での課題

- 多様な進路希望の実現に向けて、計画的できめ細かなキャリア教育の取組の検証と充実。
- 授業に関して、質・量の両面での充実。
- 多様な進路希望を持つ生徒に対し、より適切な指導ができるよう、進路希望別クラス編制を実施しているが、生徒・保護者の理解が十分ではなく、選択が適切になされているとは限らない。
- 特別研究授業やアクティブラーニングによる自己表現活動・ICTを活用した授業研修などにより、組織的な授業力の向上を図っているが、特にICTの活用においては、全職員の積極的な取り組みには結びついていない。
- 平成29年度以降、スポーツリーダーコースの解消において、その成果の検証を、学校の特色としてどのように位置づけるか。
- 地域における広域避難所・帰宅困難者受け入れ等を行う防災上の拠点として、物・心両面から地域の中核となるように地域協働や防災意識のさらなる向上を図ることができるか。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの教育成果をふまえ、よりきめ細かな学習指導のできる、教育課程と学習環境の充実を進め、学力の向上を図る。 ・自ら学ぶ力を育成するため、個々の教員の授業力・教育力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが目標を持ち着実に努力し成果をあげることができるように、進路希望別クラス編成を推進し、スポーツリーダーコースの成果を検証しニーズに合った教育課程を編成する。 ・授業改善のために、アクティブラーニング等を推進し、校内研修の計画的・組織的な取組を進める。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・『一人が一校を代表する』という考えのもと、規範意識や基本的な生活習慣の定着を図り、教育相談体制を充実させ、『いじめ問題』等への迅速かつ適切な対応を行う。 ・部活動を通して、人間力、自主性、実行力、リーダーシップ等の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが自己肯定感を持ち、社会の一員としての規範意識の向上を図る。 ・社会状況の変化により、さらに多様化する生徒の問題を的確に捉え、個々に応じたサポートを行う。 ・1年次の部活動全員加入を継続して、部活動による社会性の育成に努める。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの進路希望に応じたきめ細かなキャリア教育の実践を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した、きめ細かな指導体制を充実させ、キャリア教育を計画的に推進し、自己実現や進路実現を目標に、進路実績の向上を図る。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見を積極的に取り入れ、地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を導入し、地域等との協働による、地域に開かれた、地域と共にある学校づくりに取り組む。 ・授業、部活動、ボランティア活動、学校行事等を通して、地域協働を推進する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の計画的な人材育成、個々の資質・能力の向上を図り、学校全体の教育力の向上を目指す。 ・重点課題総点検結果を検証し、事故・不祥事防止の徹底に努める。 ・県立高校改革に基づいた、学校運営を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTを積極的に取り入れると共に、計画的な校内研修を行い、資質・能力の向上を図り、人材育成に努める。 ・重点課題総点検の結果を踏まえて、職員への啓発活動を計画的・組織的に展開する。 ・学校のミッションを周知し、学校全体の取り組みとして、県立高校改革を進める。